

令和5年度 第4学年 学年経営案

学校教育目標

豊かな心を持ち、進んで学び、心身ともにたくましく生きる西原の子どもを育てる。

めざす子ども像

〔やさしく〕

気持ちよいあいさつをする子
自分と友達のよさが分かる子

〔かしこく〕

よく考え、進んで学ぶ子

〔たくましく〕

楽しく運動し、目標をもって体力・
気力の向上に最後までがんばる子

第4学年経営

学年経営目標	学級相互の連携を図りながら、心身ともに健康でたくましく、自ら学び、よく考えて行動する子どもを育てる。		
学年重点目標	1	思いやりの心を持ち、礼儀正しい行動ができる子どもを育てる。	
	2	規則正しい生活をし、元気に楽しく運動に取り組む子どもを育てる。	
	3	基礎的・基本的内容を身に付け、学ぶ楽しさを味わうことができる子どもを育てる。	
	4	積極的な情報発信に努め、保護者との信頼関係を構築する。	
学年経営の具体策	Ⅰ 豊かな心と健康な体	1	道徳の時間を充実させ、子どもの道徳的実践力を育む。
		2	子どもに係・当番・清掃などを通して、働くことのよさや意義について気付かせ、取り組ませる。
		3	計画的な教育相談を行って、子どもの心に寄り添い、課題の早期発見・早期解決に努める。
		4	「早寝・早起き・朝ごはん」や「ハチツボネブ」、「あいさつ・返事」の徹底等、基本的生活習慣を身に付けることができるように、家庭への啓発をしていく。
		5	体力・運動能力の向上や心の健康維持を目指して、普段から運動に親しむことができるようにしていく。
		6	危険予知能力を高めるために、交通安全教室や集団下校訓練などの安全に関する行事の事前事後指導を充実させる。
	Ⅱ 確かな学力と個性の伸長	1	子どもに基礎的・基本的な内容を習得させるとともに、「できた・わかった」という達成感を味わわせることができるよう授業力向上に努める。
		2	読書好きな子どもをめざして読み聞かせを実施したり、読書のよさを伝えたりするなど、朝読書の時間や国語科の授業を充実させる。
		3	家庭学習(50分)の指導を徹底し、家庭学習の習慣化を図るとともに、家庭への協力と理解を求めていく。
	Ⅲ 信頼される学校づくり	1	学級通信や家庭訪問、学級PTAなどで、学校・学級の経営方針についての理解と協力を求めていく。
		2	全保護者と計画的に教育相談を実施し、相談しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、子どもの望ましい成長に向けて支援することができるようにする。
		3	PTA行事や地域行事等へ積極的に参加するとともに、子どもの地域行事等への積極的な参加を呼びかけ、子どもに学校が地域に支えられていることに気付かせる。